

令和 6 年度第 2 回大野城市国民健康保険運営協議会（議事録）

1 日 時 令和 6 年 10 月 2 日（水） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 45 分

2 場 所 大野城市役所 本館 4 階 全員協議会室

3 出席者等

（1）出席委員 10 名（全員出席）

（2）国保年金課職員（事務局）

4 次 第

（1）議事録署名委員の指名

（2）議 事

大野城市国民健康保険運営方針の中間見直しについて

事務局から配布資料に基づき順に説明

（中間見直しの背景、概要等）

主な質疑等

委 員 収支目標については、子ども医療の拡大分については反映されているのか。

事務局 子ども医療の拡大分については、加入している健康保険に関わらず一般会計から歳出しているため、国保特会には含まれない。

委 員 収支目標における税込について、いわゆる滞納分はどのように反映されているのか。

事務局 令和 4 年度及び 5 年度の収納率の実績は 94.71%であるが、県の運営方針において示されている 95.32%という目標を達成する条件のもと国保税額を試算している。

委 員 国保税は現年分のみが計上されているのか。

事務局 収納率の目標は現年課税分のみ設定しているが、収支目標における国保税額には過年度滞納分についても含めて試算している。

委 員 レセプト点検については実績が高いようだが、効率的ではないレセプト審査が行われてはいないか。

事務局 レセプト審査の適正化については、国保連合会からも注意喚起されており、本市でも不要なレセプト点検につながることを無きよう留意している。

委 員 ジェネリック医薬品についてだが、医療現場ではジェネリック
 医薬品が不足し、切り替えが行えない状況が発生している。厚生
 労働省にジェネリック医薬品の生産を増加するなど要望できな
 いか。

事務局 直接的に要望する機会はないが、市長会を通じての要望等、機
 会があれば提言したい。

(3) その他

事務連絡